

23区清掃工場故障週報 平成26年4月～平成26年9月

連番	工場名	炉	状況	発生日時	立下日時	立上日時	復旧日時	故障内容・備考等
42	中央	2号ごみクレーン	停止	H26.10.1 17:13				2号ごみクレーン格納状態で、リレー盤内のPLCにエラーが発生し動作不能となった。クレーン操作室とクレーン間の通信ケーブルの断線が疑われるため、クレーンを停止し補修する。
41	灰溶融・世田谷	2号炉	休炉	H26.9.24 15:19	H26.9.24 16:53			2号主灰乾燥排ガスラインから異臭がした。原因調査のため、溶融炉を停止する。
40	品川	2号炉	休炉	H26.9.30 11:00	H26.9.30 16:05			SGH出口排ガス温度の下限警報が発報したため現場確認したところ、水漏れを発見した。運転中では原因特定が困難なため、焼却炉を立ち下げた。
39	多摩川	1号炉	休炉	H26.9.27 8:00	H26.10.4 0:00			1号過熱低減器給水流量計ガasket部よりボイラ水漏れが発生したため、立ち下げて補修する。
38	目黒	2号炉	休炉	H26.9.26 8:00	H26.9.28 0:00	H26.9.30 19:15	H26.10.1 15:02	2号炉SGH入口蒸気圧力取出しラインのフランジより蒸気漏れが発生し、これを補修するため2号焼却炉を立ち下げる。
37	世田谷	1号炉	休炉	H26.9.23 9:21	H26.9.24 20:04	H26.9.26 22:40	H26.9.27 9:37	破碎ごみ供給装置に異物が巻き付いたため、逆転操作で解除を試みたが、解除できなかったため、炉を立ち下げ解除する。
36	新江東	2号炉	休炉	H26.9.18 10:00	H26.9.18 14:00	H26.9.29 21:25	H26.9.30 15:12	蒸気式ガス再加熱器の本体保温材付近から水がしたたり落ちており、高圧蒸気配管から蒸気漏れの恐れがあるため焼却炉を立ち下げた。
35	世田谷	1号炉	休炉	H26.9.18 13:08	H26.9.18 13:08	H26.9.20 23:38	H26.9.21 10:31	ガス化炉空塔部の温度が上昇した。流動層内に針金等の堆積が考えられるので除去のため立ち下げた。
34	中防・破碎		休炉	H26.9.17 7:05	H26.9.17 17:00	H26.9.24 23:55	H26.9.25 6:00	不燃物排出装置に閉塞が確認された。解除作業のため、焼却炉を立ち下げた。
33	中央	1号ごみクレーン	停止	H26.9.16 19:34			H26.9.20 14:00	1号ごみクレーンが着地し、バケットが傾いた状態(クレーン操作室から向かって右及び左)でつかみを入れるとごみクレーンの電源が切れる。給電ケーブル損傷による故障と思われる。
32	千歳	1号炉	休炉	H26.8.8 13:54	H26.9.11 11:00	H26.9.15 15:12	H26.9.16 12:12	巡回点検時、後燃焼ストーカロッドシール部ダストブーツに亀裂を発見した。経過を観察していたが、亀裂が拡大し作業環境を悪化するおそれがあるため焼却炉を立ち下げた。
31	中防・破碎		休炉	H26.9.2 5:30	H26.9.2 6:00	H26.9.2 19:58	H26.9.3 2:03	飛灰搬出装置のコンベヤ部に灰による閉塞が確認された。解除作業のため、焼却炉を立ち下げた。
30	千歳	2号ごみクレーン	停止	H26.9.8 22:04			H26.9.10 14:30	クレーン運転中に給電ケーブルの垂れ下りを発見した。ケーブルリール駆動用チェーンの中間軸の軸受が破損していたため、使用を中止した。
29	中防・破碎		休炉	H26.9.6 9:51	H26.9.6 10:51	H26.9.6 11:49	H26.9.6 12:23	砂循環装置の炉砂投入口に不燃物が堆積し、砂の循環が停止した。解除作業を行うため、焼却炉を立ち下げた。

23区清掃工場故障週報 平成26年4月～平成26年9月

連番	工場名	炉	状況	発生日時	立下日時	立上日時	復旧日時	故障内容・備考等
28	世田谷	1号炉	休炉	H26.9.7 17:53	H26.9.7 19:52	H26.9.8 22:08	H26.9.9 9:25	現場点検をしていたところ、シムチェーンのTピンが無くなっていることを確認した。コンベヤピンも外れかけていたため、運転継続が出来ないと判断し、焼却炉を停止した。
27	新江東	2号ごみクレーン	停止	H26.9.2 3:35			H26.10.2 8:30	バケット用電動機の漏電遮断器が動作し、バケットの開閉が出来ないため使用停止する。
26	江戸川	T/G	停止	H26.8.29 16:30	H26.9.2 11:00	H26.9.3 10:02	H26.9.3 11:55	蒸気タービン入口圧力及び入口蒸気流量に異常が見られ、ガバナアクチュエータの不具合が予想されるため蒸気タービンを停止し調査する。
25	江戸川	2号炉	休炉	H26.8.21 13:00	H26.8.30 10:00	H26.9.5 15:28	H26.9.6 9:22	乾燥ストーカ下空気圧力及び空気流量が徐々に低下した。ホッパシュートの閉塞が疑われるため焼却炉を停止し点検する。
24	灰溶融・多摩川	1号炉	休炉	H26.8.27 5:59	H26.8.27 6:28		H26.9.1 9:30	水砕水槽よりスラグを搬出するスラグ搬出コンベヤが運転不能となったため、補修するため溶融炉を立ち下げた。
23	光が丘	1号炉	休炉	H26.8.17 10:30	H26.8.17 12:48			減温塔出口側で排ガス圧力の低下傾向が強く、ボイラの閉塞が推測された。さらに炉内圧力を制御する誘引ファン回転数制御値が100%になり運転継続が困難となったため焼却炉を立ち下げた。
22	世田谷	1号ごみクレーン	停止	H26.8.4 6:21			H26.8.6 11:00	No.1ごみクレーン手動運転時に乱巻警報が発報した。復旧作業をするために運転をしたところ、支持ワイヤ4本中2本が切断した。
21	世田谷	1号炉	休炉	H26.8.3 16:59	H26.8.3 17:42	H26.8.8 22:37	H26.8.9 11:35	破砕ごみ搬送装置が過電流で故障した。現場を確認したところ、コンベヤのスカート部分の脱落を確認した。運転継続が出来ないため、焼却炉を立ち下げた。
20	足立	2号炉	休炉	H26.7.28 2:25	H26.7.28 8:20	H26.8.1 18:52	H26.8.2 13:30	乾燥火格子温度が急上昇した。温度が低下しないことから原因調査のため焼却炉を立ち下げた。
19	光が丘	2号炉	休炉	H26.7.25 23:06	H26.7.25 23:06	H26.8.1 1:00	H26.8.1 21:05	ボイラ下部ホッパーシュートのロータリバルブ上部点検窓にて、灰の通過が確認できないためホッパーシュートの閉塞が推測された。槌打等を行ったが解除できないため焼却炉を立ち下げた。
18	港	2号クレーン	停止	H26.7.25 14:38			H26.7.26 20:00	2号ごみクレーン手動運転中にごみクレーンバケット油圧電動機ブレーカトリップが発報した。現場を確認したところ、バケット給電ケーブルの被覆の損傷を発見した。
17	光が丘	1号炉	休炉	H26.7.20 12:30	H26.7.20 19:45	H26.7.28 1:07	H26.7.28 22:00	ろ過式集じん器[1-4]室のマノメータに差圧が出ないため内部に灰の堆積が推測された。槌打等を行ったが解消されないの、調査のため焼却炉を立ち下げた。
16	豊島	1号ごみクレーン	停止	H26.7.12 5:20			H26.7.14 12:15	バケット上昇中に給電ケーブルが巻き取られなくなったため、クレーンを格納しケーブルを人力で引き上げた。巻上用トルクモータとケーブルリールを結ぶ駆動チェーンを中継する軸の軸受けの損傷が判明した。
15	港	1号炉	休炉	H26.7.8 10:00	H26.7.10 14:00	H26.9.5 15:02	H26.9.6 11:44	蒸気式空気予熱器蒸気配管の破孔音を確認したため、蒸気流量を調整して運転を継続していた。しかし、破孔音が大きくなり、破孔箇所が拡大していることが懸念されるため立下げを行う。

23区清掃工場故障週報 平成26年4月～平成26年9月

連番	工場名	炉	状況	発生日時	立下日時	立上日時	復旧日時	故障内容・備考等
14	港	2号ごみクレーン	停止	H26.7.5 23:02			H26.7.6 11:00	2号炉ごみクレーン自動運転中にケーブルリール過負荷警報が発報した。現場を確認したところ、現場盤内のケーブルリール電動機のサーマルリレーがトリップしていた。復旧できなかったため使用を中止した。
13	有明	1号炉	休炉	H26.6.18 14:30	H26.7.5 10:00	H26.7.8 16:12	H26.7.9 7:31	2号炉定期点検中に、循環ファン軸封パッキンの脱落及び摩耗が見られた。1号炉当該機器については、現場調査を行うなど様子を見ていたが、同様の事象が発生していることが予見されたため焼却炉を立ち下げた。
12	新江東	3号炉	休炉	H26.6.25 14:00	H26.6.27 21:04	H26.7.3 21:34	H26.7.4 19:22	蒸気式ガス再加熱器の配管保温材付近から水がしたりおちており、現場調査並びに経過観察していたが、高圧蒸気配管から蒸気漏れの恐れがあるため焼却炉を立ち下げた。
11	灰溶融・足立	1号炉	休炉	H26.6.24 11:00	H26.6.24 17:21		H26.6.27 12:20	炉内圧力と集じん器入口圧力の差が大きくなった。煙道の閉塞が予測されるので、調査のため、溶融炉を休炉した。
10	足立	1号炉	休炉	H26.6.8 14:00	H26.6.10 14:00	H26.6.13 18:59	H26.6.14 13:12	ストーカ下コンベアで未燃物が確認された。火格子脱落が予測されるので調査のため焼却炉を立ち下げた。
9	世田谷	1号炉	休炉	H26.6.7 6:18	H26.6.7 6:47	H26.6.13 22:00	H26.6.14 10:39	破碎ごみ搬送装置が過電流で故障した。現場を確認したところ、コンベヤチェーンの破断を確認した。運転継続が出来ないため、焼却炉を停止した。
8	足立	2号炉	休炉	H26.6.4 20:20	H26.6.4 21:29	H26.6.9 15:09	H26.6.10 9:40	二重ダンパ動作不良対応時、ストーカ下コンベアで未燃物が確認された。火格子脱落が予測されるので調査のため焼却炉を立ち下げた。
7	新江東	共通	休炉	H26.5.31 8:09	H26.5.31 10:09	H26.6.3 15:29	H26.6.4 11:46	窒素酸化物除去設備室内のアンモニア濃度が上昇し、インターロックによりアンモニア蒸気発生装置が停止した。復旧が困難なため、稼働していた1号炉及び3号炉を立ち下げた。
6	世田谷	1号炉	休炉	H26.5.25 9:55	H26.5.25 13:12	H26.5.28 0:58	H26.5.28 12:16	破碎ごみ供給装置が過負荷で停止した。現場確認後、再度運転を試みたが装置を運転することができず、ガス化溶融炉にごみを供給できなくなった為、炉を停止した。(現在、原因調査中)
5	有明	2号炉	休炉	H26.4.28 13:56	H26.4.28 15:20	H26.4.29 16:50	H26.4.30 7:50	機器冷却水高置水槽(2)測定値下限が発報し、現場確認をしたところ、冷却水槽レベル発信器に接続する配管が折損していた。修理のため2号炉を立ち下げた。
4	世田谷	1号炉	休炉	H26.4.25 3:19	H26.4.25 3:56	H26.5.2 21:49	H26.5.3 10:30	破碎ごみ搬送装置が過電流で故障した為、再度運転したが、運転出来なかった。その為、焼却炉を停止した。
3	墨田	1号炉	休炉	H26.4.22 23:04	H26.4.23 7:03	H26.4.29 13:19	H26.4.30 12:10	監視中、No.1主灰ホップブリッジ解除渋滞警報が発報。現場点検したところ、点検窓より灰の詰まりが確認された。解除装置にて解除を試みたが、灰の詰まりが解除できないため焼却炉を立ち下げた。
2	世田谷	2号炉	休炉	H26.4.18 17:46	H26.4.18 19:40	H26.4.23 20:36	H26.4.24 8:16	不燃物排出装置が故障し、ガス化炉から循環している砂の流れがなくなった。改善を試みたが、復旧が見込めないためガス化炉を立ち下げた。
1	板橋	1号ごみクレーン	停止	H26.4.14 16:00			H26.4.17 16:00	自動運転中にバケット開閉過負荷の警報が発報。、サーマルリセット後、再度運転を試みたが、すぐに過負荷で停止してしまう。故障原因として、バケット開閉用の油圧ポンプ・電動機の不具合が考えられる。